

ほほ月刊 んだもしたん

(諸県弁の「まあどうした事でしょう」)

N. dani-shifan

発行 有限会社ナツプ
編集責任 中田 等
発行日 令和六年 六月
問合せ先 〇九八五五一七四〇九

じじいママとマテ貝と

妻と娘の強い願望で？潮見表を確認し今年5月5日に熊本県三角にマテ貝を取りに何年かぶりに行きました。高速道路を使って約3時間参加者は私十妻十娘十息子嫁十孫の5名でした。息子嫁と孫は初参加で、事前に動画で貝とりの学習をしていました。この漁場は有明海にあり、潮の満ち引きが大きく貝とりには最適な場所です。海岸沿いに駐車場十水道十トイレもあり



近くにはコンビニも完備！洗練された貝とりのテーマパークと言った所でしようか？このマテ貝取りを要約解説しますと、まずはマテ貝の穴を探します(直径10mm程度)その穴に直接塩を振りかけ、潮が満ちて来たとお勘違いしたマテ貝が顔を出します、このマテ貝始めは20mm程度しか顔を出しません？じっと待っていると体の三分の一くらい出てきます。このタイミンで貝を掴みます！画面では伝わらないと思いますが、マテ貝を掴んでから抜き取るまでの駆け引きが、とっても面白いのです？力で引っ張ると貝殻が壊れてしまいますので、絶妙の力技とタイミングで抜き取ります。この感覚が時間と共に分かって来て？潮が満ちてくるのを忘れてハマります！貝とりの道具や取り方は人それぞれで？塩を使うのは同じですが、塩を直接手でやったり、耳かきみたいな

物を使ったりとまちまちです。私達はハニーポトルに塩を入れて取りました。(塩は水分の少ないサラサラ系が使いやすいです)私達家族で60本程取る事ができましたヨ！帰って美味しくバター焼きで頂きました。孫は貝は取らずにもっぱら砂遊び、海も怖がらず砂ケキを作って家族みんなに自慢していました。2時間ほどの作業でしたが、家族の絆も深まり、十分に楽しめた一日となりました。追伸！以前は漁協の方が集金(大人1,000円)に回って来ていましたが、今年は誰も集金に来ませんでした。無料でラッキ―でした？(等)



※じい様お手製の砂場専用ソリが活躍しました！近くの子供がこのソリをジッと見ていたら孫はドヤ顔してました(笑…)

『ごみと不要な物との戦い』

たまたま書店で手に取って立ち読みをして衝撃を受けた本が、近藤麻理恵さんの「人生がときめく片づけの魔法」でした。

触った時にときめくかどうかを判断基準にして残すか捨てるかを決めていく片づけの指南書です。購入した本を一晚で読み即実践しました。

これが私の片づけの始まりでしたが、物に対してのときめく感覚がなかなかつかめなくて、思ったように行きませんでした。

元々整理整頓が好きで片づいた家ではあったのですが、何かしっくりしない気持ちでした。

次に実践したのがやりました。ひでさんの「断捨離」でした。不要な物を減らし今の自分にとって大事なものは何か。色々考えてこれで嫌な思い出のある難人形や大型家具、ベッド、机を処分出来たのは精神的に良かったです。

その後、取り掛かったのが最大の悩みであった実家の片づけですが、これが大変な作業でした。

四年前、母が入院しその後施設に入った時に父が母の着物や洋服や物は全部捨てていから、必要な物はその都度買うからと驚くような事を言ったので、私がそれらの物を家の外に出し、近くに住んでいた叔母と姪が軽トラックで

ごみ処分場まで運んでくれましたので大変助かりました。その時に残っていた祖母の物も大量に処分しました。コロナ禍の中、母は亡くなり、コロナが収束するまでは父から実家に帰ってくるなど言われていたので、去年の夏ごろから父の様子を見るのと掃除をしに兄と一緒に月一回、実家に帰っています。

田舎のあるあるで広い庭や物置がある為か、あっちこっちに物が捨てて有りました。空瓶、空缶、殺虫剤のスプレー缶を五百個位処分したけれども、まだまだビール瓶や一升瓶が出てくるわ出てくるわ本当に嫌になります。

食器も父が使用する分だけ残せばいいのですが、昔、冠婚葬祭の行事を家でしていたので、和食器や湯飲み茶碗、コップなどが百人分以上有り捨てても捨てても終わりません。

鍋などの台所用品や壊れた小さい電化製品等は、私の車で家まで運んで分別して少しずつ捨てています。

壊れた冷蔵庫、テレビ、六棹もある箆笥、嵩張る重たい綿布団や座布団、父の職業が大工だったので大型機械や工具類、そして農機具も悩みの種になっています。

今だったら実家の片づけに燃えています。しかし、四、五年後七十歳になった私が片

づけをする気力があるかどうか、こればかりはわかりません。

この様な体験から私の子供には片づけで苦労を掛けさせたくないの、不要な物を持たずに自分にとって必要最低限の物だけで生活したいです。

人間関係も本当に必要な人事だけをしてストレスを減らしたいです。現在の一番の文明利器であるスマホを活用して、より豊かな生活を目指したいと思っていますがどうなる事やら、頑張って色々な事を勉強します(笑)。

この前、窓や障子や襖をパンパン開けて何も無い、そよ風が吹き抜ける広い綺麗な和室で大の字で昼寝していた幼頃の夢を見ました。

「気持ち良かったなあ」と昔の記憶が呼び覚まされました。これがきつと、私の好きな空間であり理想とする片づけの概念だと思っています。

(百)



大阪旅行記



ずっと楽しみにしていた大阪旅行、ワクワクしかない。久しぶりの宮崎空港。安定の反転フラップ式案内表示機。これもうレアすぎるので、パタパタ変わるころを、県外から来られた方は動画で撮影している方もいらっしゃるみたい。県外人の様に振舞い動画撮影。SNSにアップ！卓外のフォロワーからイイネ！沢山いただきました。

今回は、夜のフライト。大阪上空の夜景はまるで宝石箱！上空からライトアップされた大阪城見えて気分爆上がり！いい旅になりそうな予感。着陸時「ドシン」と衝撃が強かかって着陸。一番後席に座っていた私はむち打ち気味に。日焼けしたゴルフウェアの関西人、「無理やり着陸したなあ〜」すぐツッコミ入るとこイイネ！都会の空港ってのは、冷酷非道なもので、人口の少ない宮崎ゲートは出口までが兎に角長い。陸の孤島宮崎は、マジで島扱い。荷物受け取り所までどんだけ歩くねん。えせ大阪弁を話始める。使用人(友人)を迎えに待たせ、会うなり第一声「なんでそんなに汗かいとんねん」

以前の訪問です。あの頃は、またお寺かよー、はよ夢の国に連れていってと言っただけですが、今回の訪問では、こんな素晴らしい建物が目の前にあって感動！歳をとるとこうなるのですね。何故鳳凰堂と呼ばれているのか、親切丁寧にパンフレットに書いておられます。正面から見た姿が翼を広げた鳥のように見えることから「鳳凰」という名が付いたと考えられています。また、池の中島に建立されているため、水面に逆さになった姿が映し出され、この世に極楽浄土を再現するために造られたとあります。

金色の鳳凰が輝き、堂々たる建造物。鳳凰堂に魅了され、鳳凰が描かれた御朱印帳を購入させていただきました。今回は残念ながら、内部拝観は希望者多数の為、内部には入れませんでした。平等院境内には、国宝や重要文化財が多く納められた博物館「ミュージアム鳳翔館」があり、国宝である平安時代の「梵鐘」を始めとして、十一面観音菩薩立像などの貴重な文化財、最新のデジタル技術を使用した平安時代の平等院の復元映像がありました。普段はなかなか知ることのできない平等院の歴史と文化について触れることのできる唯一の場所、是非とも訪問して欲しいです。平等院周辺の景観も素晴らしい、宇治川沿いを散策でき、リフレッシュすること



が出来ました。大阪と言えば粉もん！食べなきゃ始まらない。夜は、友人宅近くに美味しいお好み焼き屋があると連れていってもらいました。ん、住宅兼店舗の2階建て。中に入ると、カラオケはないですが、スナックみたいな賑わい。地元民しかいない。奥で卓を囲んで大宴会中。カウンターは、8席あるうちの1席しか空いてない。「兄ちゃんこそすわりーや。」お持ち帰り待ちのばあちゃんの声かけてくれた。ありがた。焼き場は若い男性が一人で担当。その横には男性の母親らしき人が接客されました。注文して、目の前で調理しているのを見ると、調味料の中に【マキシマム】が置いてる！友人にあの調味料しつとる。指さしたら、焼き場のお兄さん、「これ凄い役に立つんですわーなんにでもあいます！」言ってくれました。嬉しいですね。県外でも魔法の調味料は大活躍しています。大宴会中の会話が聞こえてきます。「もつとひねらにゃおもろないわー、笑いとれんで」凄いつッコミ。一番でかい声で話してるおっさん、焼き場の男性に、「コッパとってやー」男性、「こっち忙しいんやから自分でとって！」まさかの父親さんw仕事して！周りの会話を聞いてみると、必ずといていいほど、誰かがボケ、それに対して「なんでやねん」と誰かが

ツッコむみたいなルールがあるっぽい。常に笑いをとろうとしている。笑いのある食堂って感じで居心地がいい。出来上がったお好み焼きを食べていたら、奥から、叔母さんらしき方がでて来られ、ご来店ありがとうございますと声をかけてくれました。しまいには、これお店からです。食べてくださいとフルーツ盛とゼリーをいただきました。宮崎でこんな事されたことあったかな。大阪は、まだまだ義理人情が息づいています。人との関係が希薄になりつつある現代においては貴重な県民性ですね。笑いを大切に、人と人とのつながりを大事にする大阪は、昔ながらの雰囲気を感じられます。大阪の良さでしょうね。お好み焼きの美味しさ、大阪の良さを存分に味わって。2件目に行った飲み屋、大阪お姉さんの元気にタジタジ(汗)大阪で笑いと人情、元気を分けてもらいました。(光)

チヨースンのよくある話 「コスト」の プルコギの使い方

遠かった福岡のコストコから、近くなった熊本のコストコに行ってきました。

一旦退会していたものの、1年経過していたので問題なく再度会員に。ありがたいことに、宮崎市内でもコストコ商品を扱う店舗さんがおられるのですが、たまには本家本元に行きたくなります。

我が家を買うのは食料品程度で、お手製？の保冷シートバッグであの大きいヒザも持ち帰れる様になっています。今回は我が家だけでなく、妻の実家分もお土産・提案として色々買ったのですが、定番のプルコギビーフを盛り込みました。

1パックあたり大体1.6キロを目安に購入し、二百グラムごとにラップで小分けして8食分にして冷凍します。

二人暮らしだと適度な肉量なので、薄味が好みならキャベツやピーマンなどの野菜と一緒に炒めて、野菜からの水分で適度に薄味に仕上がります。私の場合は、パスタの量と同程度のグラムで仕上げるプルコギパスタがオススメです。

クックパッドなどのネット上のレシピを参考にしつつ、市販のトマトペーストを使って煮る様にしてプルコギを炒

め、出てくる油分や肉汁の量を調整して茹で上がったパスタに絡めて仕上げました。お気に入りのパスタはマックスバリューで売っている1.4ミリの細いタイプのパスタ。1.6ミリがスパゲッティの主流に感じる為、1.4ミリで作ると「お店感がある？」のか親族周りには好評です。

コストコまでの交通費やガソリン代も掛かりますが、買うものが明確で先々の保管と消化が計算出来るなら、コストコは頼もしい味方。

ついつい買うつもりが無かったものに手を出してしまったり、周りのお客さんの勢いに乗ってしまうと「すごい購入金額」になってしまいますので、皆さんもご注意ください。(紀)



いんちきクライマーが行く! 「屋久島 九州最高峰 宮之浦岳から白谷雲水峡」編

「一年で366日雨が降る」と言われているのが屋久島。綿密に計画を立て、はるばるやってきたのに、雨って…そりゃねえぜ、とほぼだ。鹿児島南港からトッピーでむかいます。フェリー乗りの宮之浦港では、そこそこよい天気だったのに。テント・寝袋・食料でザックはパンパン。20キロ近い重量だ。島のバスで安房地区へと向かい、本日の宿は、民宿「鶴屋」さん。

地探れの魚と焼酎は最高でした。翌朝五時に、屋久島交通さんのタクシにて淀川登山口へ。運転手さんは杉さんという方で、名前のごとく屋久島と屋久杉についてたっぷりレクチャーを聞かせてもらいました。世界遺産のエリアは一般車両は入れないので、



肩に食い込むザック



宮之浦港 トッピー

小雨の中スタート。空が明るくなるころ、最初の山小屋へ到着。ここで朝ごはんです。民宿で頼んだおにぎりをほおばります。後ろからやってきた組は、ガイドさんと女性二人。予定を聞くと新高塚小屋



民宿「鶴屋さん」

さて、淀川小屋からは、傾斜がきつくなってきました。ザックが重い。とはいえ、なんとなく雨が止んだかなあ。青空とお日様が見えて、おもしろい手をあわせました。もちろんきまぐれな屋久島の女神がほほ笑んだのは、この瞬間だけでしたが…。



「淀川小屋」(よどこ)

で泊まりとの事。体が隠れるくらい大荷物ザックを背負うガイドさんと、ものすごく軽装な女性二人が対照的。ガイド登山は高額ですが、快適なんだろうな。

花之江河は雨に煙っております。分岐路ではありませんが、腰を下ろして休める場所はありません。投石平へと登る路は、若干のアスレチック的な道でした。ロープ場は結構ありますが、本当にロープが必



湿地帯「花之江河」



「投石平」への登り

要なポイントは縦走を通してありませんでした。絶景が続くと、だんだんと麻痺してきて、写真におさめるのもめんどくさくなります。風と雨との闘いがここからはじまりました。苦行、難行、一枚も写真を撮影することなく、気が付けば山頂。宮之浦岳山頂は、真っ白けのけ。あっけな



山頂直下

んどいのも確かにしんどい山です。あたり一面真っ白に煙ります。三角点にタッチして、そそくさと下っていきます。疲労がたまっており、とにかく今日泊まる予定の小屋に辿り着きたい一心となります。うんざりするアップダウンを繰り返して、我々三人の隊列は、伸びまくり、バラバラに。ようやく新高塚に到着。飲料水の確保にむかいますが、雨で水場がシェイクされ、水筒の底に泥が沈殿です。まあ飲めればよしです。小屋内には、先行者が五名ほど。まずは濡れたカッパや靴を干す。そしてやっと暖かいコーヒーを。人心地ついて、無言で食事を終えると、六時にはシュラフの中へ避難・爆睡でした。翌朝、あいかわらずの雨。六時半に小屋を降り、雨の中もくもく歩き、一時間ほどで



縄文杉

高塚小屋へ。そして小屋からすぐの場所が「縄文杉」。森の王様。さすが王様以外の言葉は見つかりません。ようやく雨があがりました。日帰り縄文杉ツアーの人たちと逆行してすれ違いたします。道をよけ、ゆずり、だんだんと登山道は騒がしくなってきました。覚悟はしてたけど、トロッコ道歩きは、精神的にきつかった。楠川分岐から辻峠への登りで、エネルギー使い果たし、あとはゾンビが歩くが如くでした。ようやく白谷雲水峡の出口へ。21キロの旅は終わりです。やれやれな山行でしたが、充実感、近來まれにみるもので、満足満足。またいつか、こんごこそ晴れた日に登りたいもんじゃ。(賢)

局所的に好評な？フリフリ看板

二〇二一年の二月の東京の展示会でお披露目した、弊社のフリフリ看板。ウェブやSNS掲載しても中々売れる気配がなかったのですが、ここ最近少しずつお問合せを頂く様になりました。本当にありがたいことです。

日頃から商品開発のヒント探しをしておりますが、このフリフリ看板についてはテレビのニュースで流れた交通安全全キャンペーンの映像から模倣し、弊社における作り易さ・売り易さ・買い易さを形にしたものでした。例えば、テレビで見た看板の形状は四角くて握り部分にパーツを追加した形でした。そこから、「角は丸い方が、もしもの接触でも少しでもけがをしにくい様に」と。他にも、パーツ（コスト）を省きつつ左右どちらからでも握れる形状にした



て、グーグルのAI・ジェミニに「フリフリ看板を説明して」とお願いすると、バッチリ我が社のウェブから情報を簡潔にまとめて説明してくれました。弊社のウェブマスターにも感謝です。伝わる形になって初めて、画像や文字で検索している方に情報が届きます。現在、愛知県のお客様に特に好評ですが、少し前の全国ニュースでもやはり愛知県で、他社の手持ち看板を見かけました。愛知でブームかもしれませんね。(紀)

さよーなら またいつか

4月から始まった朝ドラの主題歌がとても良い。ドラマ自体も面白いけど、米津玄師の歌う主題歌が何故か今の私の気持ちにピタッとはまってしまったみたい。

主人と二人で始めたナップも今年の決算期過ぎたら35期なるらしい…。会社組織にする前も含めたら38年。お客様、従業員、各メーカーの方々…、本当に沢山の方々に支えられ育まれ、指導いただきながら

今に至ることが出来ました。私は普通のサラリーマン家庭に育立ち、学校も普通科を出たので経理の事なんてなーんにも知らず、月に一度みえる会計事務所の方に全ておまかせ状態でした。

そんな頼りない私の救世主として現れたのが松田さんです。私が下の子を出産して半年後にナップに入社、今年のゴールデンウィークで丸32年たちました。子供同士が歳が近いこともあり、仕事のことだけでなく色々な悩み、相談、愚痴を聞いてもらい、バタバタと忙しい私の心より所でした。フジコヘミングのコンサートに行ったり、ランチもあちこち、2人とも花が好きで季節の花を見に行ったり、日帰りのバス旅行は何度も…。吉岐の島には一泊旅行。父が亡くなった時も、母が亡くなった時もそっと寄り添ってもらいました。

私は長女なので兄妹の前ではいつでも元気で頼りがいのあるお姉ちゃん。そんな私にとって松田さんは姉のような存在です。ずっと二緒が当たり前だと思っていたけど…考えてみたら定年はずっと共に過ぎていて、本当ならご主人や孫

ちゃんたちとゆっくり過ごしてもいい頃になっていました。そしてとうとう今年の決算が終わったら退職となりました。ここ半年くらい一生懸命に手取り足取り教えてもらってはいるけれど…今まで甘えてた罰です。ちっとも頭に入っていない、理解できない、困った！タイムリミットが迫る中焦ってばかりの毎日。大丈夫私？いやいや大丈夫ナップ？会社の経理は松田さんに任せれば安心、大丈夫。社長も私も何の心配することも無くこれまで過ごしてきたのに泣き言いってもしようがないことも重々承知。

編集後記

2016年創刊「んだもしたん新聞」も今回で見事に50号の発行となりました。「弊社の新商品の紹介」「社員のお趣向」「お得意様情報」などを掲載して参りました。バックナンバーはホームページに掲載してありますので見逃した新聞もご覧いただけると思います。さて、誠に勝手ながらこの「んだもしたん新聞50号」をひと区切りとして（社員の老齢化など複雑な事情があり…笑）しばらく休刊したいと思っております。ご愛読頂いている皆様のお陰でここまで続けることが出来ました。誠にありがとうございました。今年も猛暑が続く日々になると思われますが、くれぐれもご自愛のほどお祈り申し上げます。

(合筆…等)

